

# セルトラリン錠25mg「サワイ」 セルトラリン錠50mg「サワイ」

2015年12月

**沢井製薬株式会社**

大阪市淀川区宮原5丁目2-30  
TEL: 06(6105)5816

## ～外傷後ストレス障害(PTSD)への投与にあたって～

セルトラリン錠25mg「サワイ」・錠50mg「サワイ」(一般名：塩酸セルトラリン)を、外傷後ストレス障害(PTSD)に対して使用される際には以下の点に十分ご留意いただきますようお願い申し上げます。

- 外傷後ストレス障害(PTSD)の診断は、DSM\*等の適切な診断基準に基づき慎重に実施し、基準を満たす場合にのみ投与を行ってください。

(※DSM：American Psychiatric Association(米国精神医学会)のDiagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders(精神疾患の診断・統計マニュアル))

- 外傷後ストレス障害(PTSD)の診療及び治療は、PTSDの治療経験が豊富な専門医が行ってください。

- 外傷後ストレス障害(PTSD)患者の症状の経過を十分に観察し、本剤を漫然と投与しないよう、定期的に本剤の投与継続の要否について検討してください。

外傷後ストレス障害(PTSD)の症状の持続期間はさまざまで、12ヵ月以上症状が残存する患者が存在する一方で、成人の約半数では発症後3ヵ月以内に回復に至るとされています<sup>1)</sup>。

1) 日本精神神経学会(日本語版用語監修)、高橋三郎ほか(監訳)：DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル，医学書院，2014.

外傷後ストレス障害(PTSD)の診断基準等を裏面にお示し致しますので、本剤の投与の際に参考していただきますようお願いいたします。

## ○診断基準

名称	特徴・入手先など
DSM-5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●DSM：Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders</li> <li>●米国精神医学会による精神疾患の分類と診断の手引きです。</li> <li>●日本語版DSM-5の入手先： <ul style="list-style-type: none"> <li>○日本精神神経学会(日本語版用語監修)，高橋三郎ほか(監訳)：DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル，医学書院，2014.</li> </ul> </li> </ul>

## ○診断ツール

名称	特徴・入手先など
CAPS	<ul style="list-style-type: none"> <li>●CAPS：Clinician-Administered PTSD Scale(PTSD臨床診断面接尺度)</li> <li>●精度の高いPTSDの構造化診断面接法で、各国の臨床研究に使用されています。</li> <li>●CAPSは質問用紙を入手しただけで実施することはできず、必ず使用方法について講習を受ける必要があります。CAPSの講習会については、一般社団法人 日本トラウマティック・ストレス学会にて案内されています。</li> </ul>
PDS	<ul style="list-style-type: none"> <li>●PDS：Posttraumatic Diagnostic Scale(外傷後ストレス診断尺度)</li> <li>●DSM-IVのPTSD診断基準に準拠して作られた成人用の自己報告尺度です。</li> <li>●PDSは以下から入手可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○独立行政法人科学技術振興機構researchmap <a href="http://researchmap.jp/nobukazu_nagae/research">http://researchmap.jp/nobukazu_nagae/research</a></li> </ul> </li> </ul>
IES-R	<ul style="list-style-type: none"> <li>●IES-R：Impact of Event Scale-Revised(改訂出来事インパクト尺度)</li> <li>●米国のWeissらが開発した心的外傷性ストレス症状を測定するための自記式質問紙で、計22項目から構成されています。</li> <li>●災害から個別被害まで、幅広い種類の心的外傷体験者のPTSD関連症状の測定が簡便にでき、横断調査、症状経過観察、スクリーニング目的などに広く活用されています。</li> <li>●日本語版の質問紙および説明書は以下より入手可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○飛鳥井 望, 臨床精神医学, 39(増刊号), 285-291, 2010.</li> <li>○公益財団法人 東京都医学総合研究所 <a href="http://www.igakuken.or.jp/mental-health/IES-R2014.pdf">http://www.igakuken.or.jp/mental-health/IES-R2014.pdf</a></li> <li>○一般社団法人 日本トラウマティック・ストレス学会 <a href="http://www.jstss.org/wp/wp-content/uploads/2014/07/IES-R日本語版と説明書2014.pdf">http://www.jstss.org/wp/wp-content/uploads/2014/07/IES-R日本語版と説明書2014.pdf</a></li> </ul> </li> </ul>

本剤の使用に際しては、最新の添付文書をご参照頂き、適正にご使用いただきますようお願いいたします。